

平成28年度

鶴見区運営方針  
実績・評価

鶴見区役所



# 防犯・防災部会

- 所管する経営課題

経営課題4 安全なまちづくり

## 経営課題4 安全なまちづくり



### 4 - 1 街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり

#### 【めざす状態】

- 安全で住みやすいまちと感じている区民を増やす。

#### 【戦略】

- 鶴見区の街頭犯罪発生件数の減少に向け、区民、地域、関係機関、事業所などが連携・協働し、区民のより一層の防犯意識の向上につながるよう区を挙げての啓発活動を推進する。
- 街頭犯罪の約6割を占める自転車盗について重点的に取り組む。
- 放置自転車も含めた自転車利用者のマナー向上をはじめ、広く交通ルールが守られるよう、区内関係機関等と連携し、交通安全の普及・啓発活動に取り組む。

## 地域・関係機関と連携した防犯対策事業

### 計画

- 防犯カメラの設置
- 防犯推進委員を中心に、各地域団体・関係機関が連携した区内一斉防犯活動
- 区役所・警察署・各地域防犯組織(青色防犯パトロール隊、子ども見守り隊、防犯推進委員等)による合同連絡会の実施
- 自転車の2重ロックを推進するため、毎月26日を「26(ツーロック)の日」として啓発に取り組むとともに、鍵の取付けキャンペーン
- 中学生防犯標語コンクール

### 目標

区で実施している防犯事業を知っていると回答した区民の割合50%以上

### 実績

- 防犯カメラの設置 32台
- 防犯推進委員を中心に、各地域団体・関係機関が連携した区内一斉防犯活動
- 区役所・警察署・各地域防犯組織(青色防犯パトロール隊、子ども見守り隊、防犯推進委員等)による合同連絡会の実施
- 自転車の2重ロックを推進するため、毎月26日を「26(ツーロック)の日」として啓発に取り組むとともに、鍵の取付けキャンペーンを実施12回
- 中学生防犯標語コンクールの実施



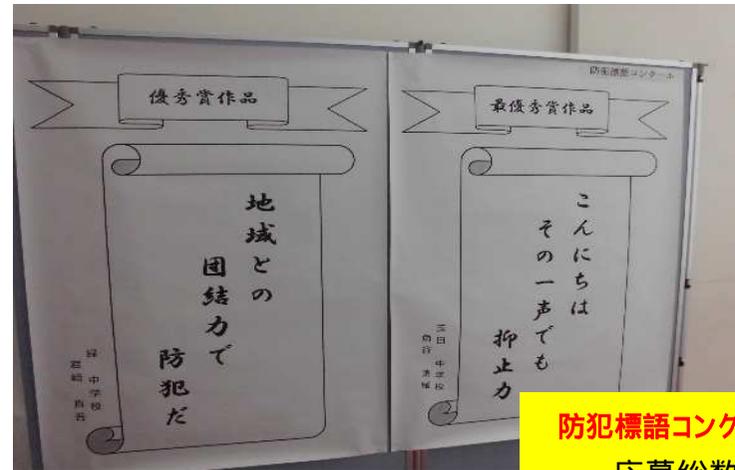
**区内一斉防犯活動の実施**  
毎月第2金曜日  
区内12地域で実施



**区役所・警察署・各地域 防犯  
組織との合同連絡会の開催**  
平成28年6月20日開催  
於：鶴見区老人福祉センター



**26(ツーロック)の日  
キャンペーンの実施**  
毎月26日実施  
12回



**防犯標語コンクールの実施**  
応募総数875点

## 評価

区で実施している防犯事業を知っていると回答した区民の割合

### 目標

50%  
以上

### 結果

89.3%

街頭犯罪の抑止に有効な防犯カメラの設置について、各地域からの要望により32台の設置を行った。街頭犯罪件数は、前年に比して減少しているが、引続き関係機関と協働した取組みや、広報紙やホームページ、ツイッターやフェイスブックを活用した啓発活動が必要

## 29年度の 取組み

- ・防犯カメラの設置 30台
- ・防犯プレートの設置 50枚
- ・防犯に関するバナーの設置 7枚
- ・防犯推進委員を中心に、各地域団体・関係機関が連携した区内一斉防犯活動 12回
- ・区役所・警察署・各地域防犯組織(青色防犯パトロール隊・子ども見守り隊・防犯推進委員等)による合同連絡会の実施 1回
- ・自転車の2重ロックを推進するため、毎月26日を「26(ツーロック)の日」として啓発に取り組むとともに、鍵の取付けキャンペーンを実施 12回

## 地域・関係機関と連携した交通安全対策事業

### 計画

交通事故防止や自転車マナーの向上をめざし、さまざまな年齢層に対して啓発活動等

### 目標

交通安全に関する知識が高まったと感じる区民の割合60%以上

### 実績

- 子育て層への交通安全教室
- 高年者への交通安全研修会
- 園児への交通安全教室
- 警察署、区内の学生と協働した自転車マナーアップキャンペーン
- スケアードストレート学習(スタントマンを活用した交通安全教室)
- 小学生交通安全絵画コンクール
- 転入者への駐輪場マップの配布
- 放置自転車啓発活動



**高齢者への交通安全研修**  
平成28年10月12日実施  
鶴見区民センター



**スケアードストリート学習の実施**  
平成28年10月23日・12月14日  
鶴見緑地・汎愛高校



**小学生絵画コンクールの実施**  
応募総数 20人



**放置自転車追放キャンペーンの実施**  
区内3駅  
(横堤・今福鶴見・放出)  
で毎月各1回実施

## 評価

交通安全に関する知識が高まったと感じる区民の割合

## 目標

60%  
以上

## 結果

95.4%

交通事故防止や、自転車マナーの向上をめざして、28年度も、スケアードストレート学習による交通安全学習を2回行い、うち1回は鶴見緑地で開催された「安全安心フェスタ」で実施した。開放された場所での開催で様々な方が参加していただけたが、周知方法を再考する必要がある。また、毎月定例的に行っている放置自転車追放キャンペーンや、小学生の絵画コンクールを開催して、幅広い年代の方へ交通安全についての啓発活動を行った。

## 29年度の 取組み

- ・子育て層への交通安全教室の実施 12回
- ・高年者への交通安全研修会の実施 1回
- ・園児への交通安全教室の実施 3回
- ・警察署・区内の学生と協働した自転車マナーアップキャンペーンの実施 4回
- ・スケアードストレート学習(スタントマンを活用した交通安全教室)の実施 2回
- ・転入者へ区内駐輪場マップの配布 約4000枚作成予定

# 経営課題4

## 安全なまちづくり



### 4 - 2 災害に強いまちづくり

#### 【めざす状態】

- 地震・風水害等の災害に対する、区全体の危機管理対応能力が向上していると感じている区民の割合を増やす。

#### 【戦略】

- 区民、地域、区役所、関係機関、学校等が連携した訓練などを通じて区全体の危機管理対応能力を向上させる。
- 地域の自主防災力の強化とそのための支援を行う。
- 地域コミュニティの活性化を図り、自主防災組織による自助・共助の視点を盛り込んだ防災活動が活発に行われるための仕組みづくり、支援を行う。

## 区民の安全・安心を担う総合的な防災力の強化

### 計画

地域の自主防災力強化のため、住民・各種団体、学校と連携した訓練等を行う。

### 目標

防災等に対する理解が高まったと感じる区民の割合80%以上

### 実績

- 避難所開設運営訓練等 12地域
- 鶴見区安全・安心フェスタ
- つるみんピック
- 小・中学生を対象とした防災学習会 4校
- 出前講座 10回



**避難所開設運営訓練・  
防災講演会の実施**  
区内12地域で実施



**鶴見区安全安心フェスタ**  
10月23日開催  
参加者 約600人



**防災競技会「つるみんピック」**  
3月12日開催  
鶴見緑地



**出前講座の実施**  
10回実施

## 評価

防災等に対する理解が高まったと感じる区民の割合

### 目標

80%  
以上

### 結果

95.4%

地域の自主防災力を強化するために、12地域で避難所開設運営訓練や防災学習会を開催した。また、鶴見緑地において、鶴見区安全安心フェスタを開催し、参加体験型ブースを展開して防災に関する知識の習得を行ってもらった。今後も、区民が防災についての知識を得て、有事の際には落ち着いて行動できるように引き続き啓発を行っていく。

## 29年度の 取組み

- ・避難所開設運営訓練 12地域
- ・安全・安心フェスタの実施 1回
- ・つるみんピックの実施 1回
- ・自助・共助の意識向上をめざした防災講演会の開催 1回
- ・小中学生を対象にした防災学習会の開催 随時
- ・出前講座の実施 随時

## 【経営課題全体としての評価総括(自己評価)】

- 防犯カメラの設置や自転車への鍵の取り付けキャンペーンなどの実施により、街頭犯罪件数、自転車盗件数の抑制に繋がった。(平成28年12月末時点で昨年度と比べ街頭犯罪件数 7%、自転車盗件数 6.1%)
- 交通安全対策事業では、年齢層に合わせた講座やスクアードストレート方式の学習会を実施するなど、より効果的な事業となるよう工夫した結果、参加者アンケートでは多くの方が交通安全に関する知識が高まったと回答している。交通事故の防止や自転車マナーの向上に向けて、引き続き多くの方に参加いただけるよう事業を実施していく。
- さまざまな取組みにより防災等に対する理解は高まったと認識しているが、区全体の危機管理能力が向上していると感じている区民の割合は依然として低い。災害に強いまちづくりに向け、地域の状況に応じた支援を行っていくとともに、取組みについてより広く区民に情報を発信していく必要がある。